

コロナ碧南市内感染 3年間で9788人

検査キットない 自宅待機者把握なし 7波は広がるばかり

	2020年	2021年	2022年
1月	0人	70人	581人
2月	0	9	2150
3月	0	6	1160
4月	8	46	546
5月	0	142	566
6月	0	23	293
7月	4	57	1706
8月	11	246	1813
9月	5	268	
10月	3	11	
11月	10	1	
12月	53	0	

政府は現場の苦 労解決を

保護者の就労と生活

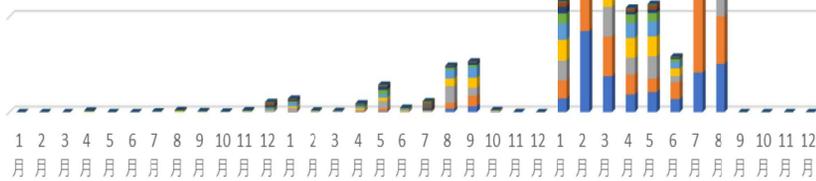
「第7波」は、10代以下の子どもへの感染の広がりが顕著です。政府の対策の立ち遅れによって必要な人に検査などが行き届かず、感染が広がった保育所が各地で次々にうまれました。保育所や学校、児童クラブなどで感染した子どもが家庭に持ち込み家族が感染する事態も相次いでいます。

子ども感染から子育て世帯に

「第7波」は、10代以下の子どもへの感染の広がりが顕著です。政府の対策の立ち遅れによって必要な人に検査などが行き届かず、感染が広がった保育所が各地で次々にうまれました。保育所や学校、児童クラブなどで感染した子どもが家庭に持ち込み家族が感染する事態も相次いでいます。

過去最大級の感染拡大

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。碧南市では8月は8月15日までの半月で、前月を超えています。



首相 第7波対策語らず
医療者の苦闘 無視

岸田文雄首相は、改造内閣を発足させた10日夜の会見で「政策断行内閣」と自ら命名しました。新内閣の五つの重点

を支援するために休園を避ける努力をしている保育所も、職員やその家族に感染が広がり、ただでさえ人手不足の現場はぎりぎりの状況です。施設利用者の定期的な検査をはじめとした感染対策とともに、人的体制が確保できない施策など国に責任を果たさなければなりません。

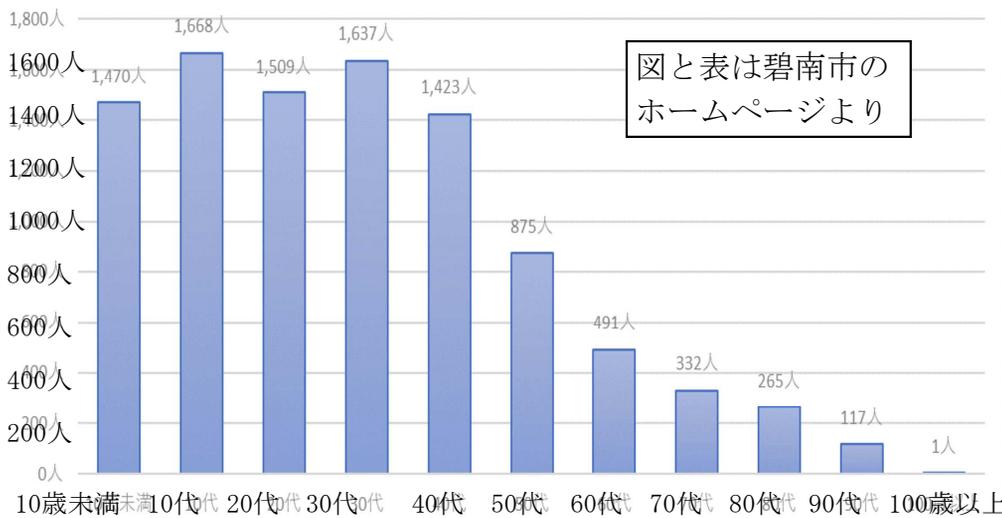
市内在住感染者の内訳

【8月15日 11時30分更新】
 年代別人数
 (合計9788人)

10歳代未満	1470人
10歳代	1668
20歳代	1508
30歳代	1637
40歳代	1423
50歳代	875
60歳代	491
70歳代	332
80歳代	265
90歳代以上	118

ときであり、そのためにも国会を早期に開き、野党とも意見をたたかわせるべきです。

年代別感染者数



図と表は碧南市のホームページより

根拠なき楽観

「少しずつ感染者が減少に転ずる地域が出て」いるなどと、楽観論を振りまく場合ではないのです。国民や医療者に「御礼」を言う前に、医療体制をどう強化するか、現在の感染爆発をどうやって抑え込んでいるかの戦略と具体策を語るべきです。感染を抑制し、医療体制を強化し、被害を最小限に食い止める対策を緊急に示す

救急搬送・医療崩壊・死者最高に

既に過去最大の感染拡大となる中で、クラスター発生件数も救急搬送困難事例も2週連続で最多を更新し、死者が急増して過去最多に迫っています。感染しても必要な医療を受けられず、救急隊が搬送するべき病院を見つけれない医療崩壊の実態があります。岸田首相には、その中で苦しむ患者とその家族、医療関係者らの苦闘が全く見え

課題を掲げる中で、第一に挙げたのは「防衛力の抜本強化」。猛威を振るう新型コロナウイルス第7波への対応をあげたのはようやく4番目でした。「コロナ対策の新たなフェーズへの移行と対応の強化」だけ。第7波について政府としてとるべき対策の中身は何ら語らなかつたのです。

愛知県後期高齢者医療広域連合議会臨時会 (2022年7月19日)

10月から窓口負担引上 4人に1人が1割→2割に倍増

7月19日に愛知県後期高齢者医療広域連合議会7月臨時会が行われ、各自治体からの選出議員の変更に伴う議会人事とともに、専決処分された補正予算および条例改正の2件が審議され、日本共産党のさいう愛子議員(名東区)が質問と討論を行いました。

10月からの制度変更を知らせるため

の啓発ポスター経費を今頃計上

専決処分された補正予算案は、10月から窓口での本人負担が1割から2割に2倍化する人が出ることを知らせるためのポスターやパンフレットを医療機関や市町村に配備する予算が計上されました。さいう愛子議員の追及により、「10月の制度変更に向け、当初予算では保険証の更新時に啓発パンフレットを郵送したり7月から相談用のコールセンターの設置とともにポスター掲示等も組んであった。しかし厚労省が作成するポスターについての詳細な情報がなかったため実施を見送り、減額して今回精査して計上した」とのことでした。

7月に通常の保険証を交付

7月には通常の保険証更新が行われ、この際に10月の制度改正についての説明書も全員に配布されます。しかしその時点では自分が1割になるのか2割になるのかは明示されておらず、本人にはわかりません。

2割を知るのは9月再交付の保険証

さいう愛子議員は、「本人が知るのは9月に再度公布される保険証を見ると。7月と9月に2回も保険証が来て混乱するのは必至。1月には制度変更の実施を決定していたのに、医療機関や役所に掲示するのは9月、実施の1カ月前。これでは周知も不徹底で、自ら混乱を招いている。あまりに遅すぎ、被保険者を混乱させる対応と言わざるを得ない」と指摘し、「高齢者に今まで以上の負担を強いるうえに、被保険者や医療機関に対し、丁寧な周知・広報とな

らないような議案は認められない」と議案に反対しました。

7月臨時会の主な議案 (2022年7月19日)

正副議長選挙可決

議長…中根武彦(岡崎市議)
副議長…吉岡正修(名古屋市議)

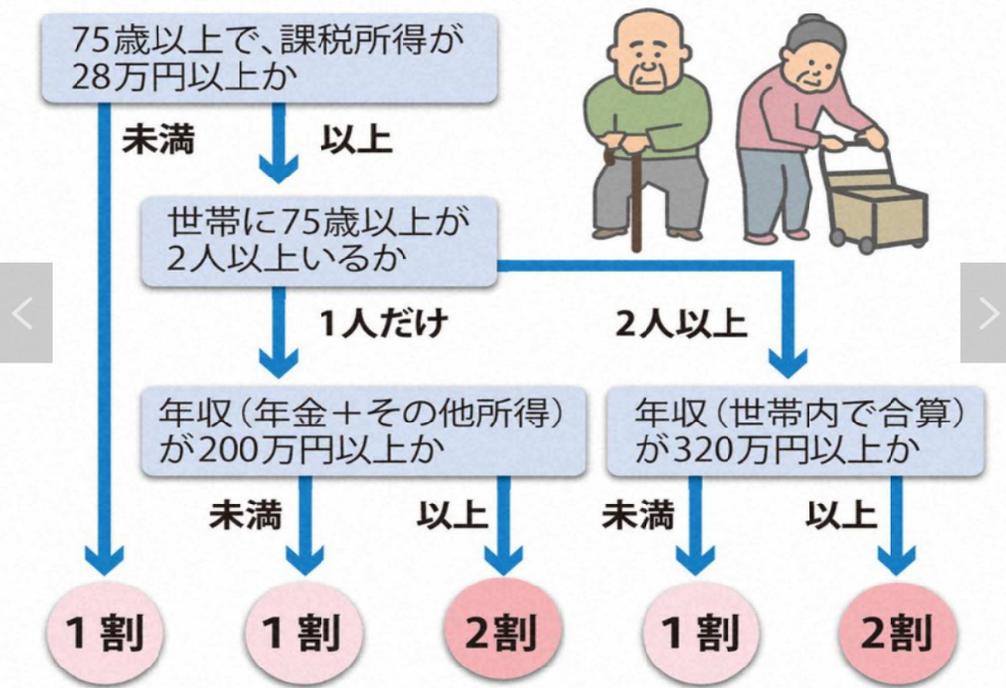
副連合長の選任可決 成瀬敦(幸田町長)
監査委員の選任可決 稲葉民治(常滑市議)

補正額454万円 一般会計補正予算(第1号)の専決処分(6月17日 専決)可決

10月からの窓口負担引き上げの周知広報用ポスター・リーフを医療機関に送付する費用の不足に対応するため。全額国費。

愛知県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の専決処分(6月16日専決)可決

2割になる場合の所得判定の考え方



日本共産党碧南市議会議員団のホームページをごらんください。

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 山口はるみ 市議会議員 岡本守正 市民運動部長 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

戦争法廃止改憲許すな
へきなん 19行動
9月19日(月曜日)
午前11時~12時 ピアゴ碧南東店
東浦町 6-17 (日進小学校南)

医療費窓口負担のイメージ

